

殺虫剤 DEP 乳剤

緑化用ディプロテックス® 乳剤

有効成分：DEP・・・・・・・・・・50.0%

農林水産省登録 第 3233 号
(ユービーエルジャパン(株)登録)
性状：赤色可乳化油状液体
毒性：劇物
消防法：第 4 類第 2 石油類
有効年限：4 年
包装：500 ml × 20

ディプロテックス®は、ユービーエルジャパン(株)の登録商標です。

特 長

○本剤は浸透移行性があり接触毒、食毒、ガス毒の諸作用により広範囲の害虫に優れた防除効果を示します。特にチョウ目等に卓効を示します。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DEPを含む農薬の総使用回数	
樹木類 (さんごじゅを除く)	ミノガ類、シャクトリムシ類	1000倍	200~ 700ℓ/10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内	
	ケムシ類	1000~ 1500倍						
さんごじゅ	アブラムシ類、ワタノメイガ ミノガ類、シャクトリムシ類	1000倍						
	ケムシ類	1000~ 1500倍						
まつ類	ハバチ類	1000~ 1500倍		1~1.5ℓ/1㎡				幼虫期
桑	クワノメイガ、アメリカシロヒトリ ヒシモンヨコバイ、ハゴロモ類	1000倍						摘採14日前 まで
芝	スジキリヨトウ		発生初期					
花き類・観葉植物 (カーネーション、 宿根かすみそう、 ほおずきを除く)	ヨトウムシ類		100~ 300ℓ/10a	発生初期				
カーネーション 宿根かすみそう	ハモグリバエ類 ヨトウムシ類							
ほおずき	テントウムシダマシ類 カメムシ類、ヨトウムシ類							

使用上の注意事項

- 使用量にあわせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はしないでください。
- 芝のスジキリヨトウ防除に使用する場合は、本剤の所定希釈液を1㎡当り1~1.5ℓ芝の上からじょうろ等により全面に灌注してください。
- 桑の害虫に対する散布の場合、老令幼虫に対しては効果が不十分な場合もあるので、若令幼虫を主体に使用してください。なお、養蚕地帯、稚蚕飼育場等の周辺では飼育期間中の使用は避けてください。
- 自動車に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 蚕に対して影響があるので、桑に使用後14日間は蚕に桑葉を給餌しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ②養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡する等、周辺への飛散に注意し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ハウス内で散布した後は十分に換気してから入室してください。

安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には、吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消化剤等で消化に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し、布・砂等に九州させ回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 飲めません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない人が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

水産動植物に関する注意事項

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は警察に届け出てください。